

準中型免許取得は消防団員の負担になるが、その対策は

普通免許で運転可能な小型動力ポンプ付積載車に順次更新を進めている



仲谷 政弘
自由民主党田原市議団



消防団活動について

問 消防団の現状の活動状況は。

答 令和元年度は火災17件、行方不明者捜索2件、台風警戒1件の出動があった。また、機関講習や新入団員教育、山林火災などの訓練、操法大会や観閲式、各地区の防災活動や各種行事にも参加をしている。

問 消防団が抱える課題は。

答 令和2年度は定員数730人に対し実員数729人で、基本団員が不足している分団を機能別分団員（※）45人が補っていることから、基本団員の確保が課題。また、平成29年3月に道路交通法が改正され普通免許ではポンプ自動車を運転できなくなり、準中型免許が必要となったことも課題である。

問 準中型免許取得は取得時間や金銭面で消防団員の負担になると思うが、その対策は。

答 令和元年度から普通免許で運転可能なオートマチック車の小型動力ポンプ付積載車にするよう見直しを図り、順次更新を進めている。

問 消防団員の訓練などの負担軽減の取り組みは。

答 操法大会は訓練日数などの軽減を考え、今年度、正副団長・分団長で協議し、今後の大会は小型ポンプ操法に限定し、各分団原則1車両での出場とした。また、年末夜警は日数及び時間短縮、非常呼集訓練や火災時の隣接分団待機の廃止、その他行事や運用の見直しを図っている。



※ 能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。

問

輪菊の作付転換はどのように検討を進めるのか。県やJAと構成する田原市農業改良推進協議会で市場調査や事例調査などが可能か検討を進めている。

答

新たな流通・販促手段の必要性を感じている。需要減少傾向の輪菊はコロナ禍を契機に作付転換を検討する農家もあるが、転換に当たっては集荷・流通方法の確保など、様々な課題がある。

問

コロナ禍における新しい生活様式への対応や消費構造の変化を踏まえた今後の農・水産業の課題は。

答

コロナ禍における本市の農・水産業の影響と対策は。切り花類と高価な貝類の価格が下落。中でも菊は出荷制限など影響が長期化した。対策として、国の融資・補助制度の周知・利用促進を図るとともに、本市独自の支援策を実施し、支援している。

コロナ禍における農・水産業について

コロナ禍における本市の農・水産業の影響と対策は。インターネットなどを活用した新たな流通・販促手段の必要性や、作付転換は集荷・流通方法の確保などが課題



小川 貴夫
自由クラブ

